

平成27年度 南丹広域振興局 運営目標達成状況一覧

[小項目の達成区分]
 「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上)
 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満)
 「△」…未達成(達成率90%未満)

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
1 交流と賑わいの「森の京都」づくりを推進します。			
南丹地域振興計画 ①地域資源をいかした交流と賑わいの森の京都 (1)豊かな自然をいかした「森の京都」の推進			
達成手段 (数値目標)	① 全国育樹祭が開催される平成28年をターゲットイヤーとして、森林文化体験ツアーや地域の小中学生を対象としたプレイベントなどの開催により、府民の京都丹波の森林や林業に対する理解を深めていきます。 ・記念植樹・育樹や地域の小中学生を対象としたプレイベントを企画するなど、関係市町、団体等との連携・協働による普及啓発活動を展開 <記念植樹等 2回 延べ40人参加(㉗新規)> <森林観察会等 1回 20人参加(㉗新規)> ・モデルフォレスト・全国育樹祭推進課との協働により、1年前キックオフイベントや丹波広域基幹林道沿線での森林文化体験ツアー等を実施 <キックオフイベント 3市町(㉗新規)> <林道ウォーキング 1回(㉗新規)>	◎	・記念植樹・プレイベントなど普及啓発活動を展開 記念植樹等 3回 134人参加<150%、335%> 森林観察会等 2回 119人参加<200%、595%> ・1年前キックオフイベント、森林文化体験ツアー等を実施 プレイベント 3市町 1企業(ムラタの森手作り市)<100%> 林道ウォーキング 1回(京丹波町コース)<100%>
	② 「森の京都」の普及促進を進めます。 ・京都丹波の道の駅~7彩+1味夢の里~を「森の京都」のウェルカムゲートに位置付け <利用者数 330万人[レジカウンター](㉖実績 278万人)> ・「森の京都」の「ロゴマーク」の普及、誘客に向けたサイン整備 <30活用(㉗新規)> ・新・京都丹波高原国定公園(仮称)活用プラットフォーム構築 環境部・振興局・市町・地元・NPO等によるプラットフォーム設立	◎	・京都縦貫自動車道路の全線開通及び新しくオープンした道の駅「京丹波味夢の里」の影響により、利用者数は増加 利用者数 365万人[レジカウンター]<111%> ・ロゴマーク活用ポスター、チラシ等 37活用<123%> ・地域力再生交付金を活用し、NPO主体でできた「声生森林文化創造協会準備事務局」に行政はオブザーバーとして参画
	③ 「森の京都」戦略拠点への交通アクセスの強化を進めます。 ・京都広河原美山線(内久保バイパス):整備推進 ・綾部宮島線(脇谷バイパス):整備推進	◎	・京都広河原美山線(内久保バイパス):平成28年度の完成に向け、用地買収完了、工事推進 ・綾部宮島線(脇谷バイパス):道路詳細設計の実施
	④ 京都府の森林蓄積の3割を有し、素材生産量の過半数を占める京都丹波地域において、丹波広域基幹林道の活用や府大、森林技術センター等の研究機関との連携により、地域産木材の安定供給を図るための「森林経営計画」樹立を支援し、成長型林業の先進地づくりによる「森の京都」の基盤づくりを展開します。 <「森林経営計画」作成森林の増加 カバー率 30%(㉗新規)> <計画策定のための森林管理システム開発検討会議 1回(㉗新規)> <効率的な森林調査マニュアルの普及啓発研修会等 2回(㉗新規)>	○	森林経営計画の樹立支援 ・「森林経営計画」作成森林の増加 カバー率 27%<90%> ・新たな森林管理システム開発検討会議 1回<100%> ・効率的な森林調査マニュアル普及啓発研修会等 2回<100%>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
	<p>森林資源を最大限活用するため、森林・林業・木材産業のあらゆる機関や団体等が揃う京都丹波地域において、それぞれが連携することにより、新たな森林ビジネスの創出に向けた取組を進め、森林産業と地域経済の活性化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域製材加工製品、その他幅広い森林・木材利用等の開発・需要促進に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> <地域産材PRのための山林や市場、製材施設等の見学会 2回(㉗新規)> <木質バイオマス利用体験学習 2回(㉗新規)> <府内産木材の地域内での製材等加工量の増加 20%増加(㉖10,900m³(見込)→㉗13,000m³)> ・木材産業の「川上」から「川下」までの情報共有を図り、新たな連携・協働による付加価値の高い地域産木材の売り方等、「森の京都」を支える林業の活性化を検討する森林京都会議「京都丹波スクール」を開催 <ul style="list-style-type: none"> <管内の森林業関係者が一同に会する「京都丹波スクール」の開催 1回(㉗新規)> 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・地域材需要促進に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> 優良木材展示市、府内産材利用施設見学会 2回<100%> 木質バイオマス体験学習 4回(なんたん暖炉体験)<200%> 府内産材地域製材等加工量の増加 <ul style="list-style-type: none"> 60%増加(㉗17,900m³)<300%> ・「川上」から「川下」までの新たな連携・協働促進 <ul style="list-style-type: none"> 「京都丹波スクール講演会」の開催 1回<100%>
2 都市農村交流を一層進めます。			
南丹地域振興計画 ①地域資源をいかした交流と賑わいの森の京都 (2)「食」や「森」をいかした京・里山のおもてなし			
達成手段 (数値目標)	<p>京都市内から1時間以内で「和食の里」や「京野菜」、「文化歴史」など本格的な農業農村体験が出来ることを売りに、小中学校の再編に伴い新たな活用が期待される校舎や農家民宿、ガイドラインに基づく民泊、既存の公的施設や温泉旅館など、多様なニーズに対応した滞在プランを「京都丹波交流滞在型クラインガルテン」として情報発信し、都市農村交流や農村ビジネスを展開します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <教育体験旅行の受入 35地区 2,300人 [うち農家滞在 3団体 250人] (㉖実績 28団体 1,996人[うち農家滞在 2団体 180人])> <教育民泊受入農家等(農村民泊等受入カード登録者)の拡大 3地区 80戸(H27受入登録)(㉖実績 3地区 50戸)> <既存の公営や民営の宿泊施設、小中学校の再編に伴い新たな活用が期待される校舎と農業農村体験などを組み合わせた「京都丹波交流滞在型クラインガルテン」の推進に向けた研究会の開催 3回・延べ30名参加(㉖実績 3回 26名)> <「京都丹波交流滞在型クラインガルテン」募集イベント(アグリスポーツ)の開催 3回(㉖実績 3回)>【再掲】 <「清流めぐり利き鮎会」準グランプリの美山川などでの釣り交流体験教室の開催 2回(㉗新規)> <農家民宿の開業支援 5軒[累計:17軒](㉖実績 12軒)>【再掲】 <地域のビジネス展開に向け提案する、農家民宿等宿泊施設と連携した農業・農村体験メニューづくり 3事例(㉗新規)> 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・教育体験旅行の受入 47地区 2,501人<109%> (うち農家滞在 10地区 555人)<222%> ・3地区、143戸<178%> ◎ 京都丹波交流滞在型クラインガルテン研究会3回 延べ23名<100%> ・アグリスポーツ 5回<167%> ・釣り交流体験教室の開催 1回<50%> ・農家民宿の開業 6軒[累計18軒] <120%> ・体験メニュー事例 4事例<133%>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
3 京都丹波まるごとスタジアム化によるスポーツ観光を推進します。			
南丹地域振興計画 ①地域資源をいかした交流と賑わいの森の京都 ③スタジアムや地域資源をいかしたスポーツ観光			
達成手段 (数値目標)	<p>京都丹波をウエルネス・スポーツ観光のメッカに(京都丹波まるごとスタジアム)します。 ・市町、関係団体の参画する「京都丹波まるごとスタジアム化推進会議」を設立</p> <p>・京都丹波トライアスロン大会の開催 ＜参加者・来場者数 2,000人(㉗新規)＞</p> <p>・京都丹波スポーツ観光ポータルサイト開設によるスポーツ観光の推進</p> <p>①</p> <p>・アフター5合宿の誘致(旅行者・宿泊施設・地域と連携したモデル地区設定)</p> <p>・スポーツと観光を組み合わせた体験プログラム開発 ＜スポーツ観光の企画プログラム開発数 6件(㉘実績 4件)＞</p> <p>・美山サイクリングイベント等での観光情報の発信＜2回(㉙実績 2回)＞</p> <p>・アグリスポーツの開催＜3回(㉚実績 3回)＞</p>	○	<p>・設立について2月8日開催の準備会で了承済み。設立総会は4月4日開催予定</p> <p>・京都丹波・トライアスロン大会in南丹(7/5)開催 参加者・来場者数 6,000人＜300%＞</p> <p>・HP構築は完了。公開は4月以降(府・京都市が共同運営の京都動物愛護センターHPが不正アクセスで改ざんされ閉鎖。当局HPも同一の業者が構築したことから閉鎖され施設入力作業ができないことから年度内の公開は困難となったもの)</p> <p>◎</p> <p>・アフターファイブ合宿モニターツアーを実施 3/25(金)～26(土)、参加者数10名(満足度100%)</p> <p>・スポーツ観光の企画プログラム数 6件＜100%＞ アフターファイブ合宿4コース(モニターツアーのコースの他、ゆったりコース、スポーツ満喫コース、大人女子コース)＋田植え体験コース＋稲刈り体験コース</p> <p>・美山サイクリングイベント等での観光情報の発信 3回＜150%＞</p> <p>・アグリスポーツ 5回＜167%＞</p>
	<p>②</p> <p>スタジアムから生まれるビジネスチャンスを掴む仕掛けづくりを進めます。 (おもてなし、グッズ、ホテル、メンテナンス、市街地賑わい再生など) ・振興局・市・地元・経済界と連携し、賑わい創出のビジネスプランを作成</p>	△	<p>・さいたま市商業振興課より、大宮スタジアムや埼玉スタジアムをいかした賑わいづくりの施策を聴取 【未達成の要因・理由】 関係団体との調整が整わなかったため。</p>
	<p>③</p> <p>専用球技場へのアクセス道路を整備します。 国道423号(法貴バイパス):整備推進</p> <p>郷ノ口余部線(宇津根橋):整備推進</p> <p>枚方亀岡線(歌留多～千歳工区):調査・設計の実施</p> <p>茨木亀岡線(小泉工区):調査の実施</p>	◎	<p>・国道423号(法貴バイパス):用地調査、道路・橋梁設計実施</p> <p>・郷ノ口余部線(宇津根橋):用地買収及びP1橋脚工事着手</p> <p>・枚方亀岡線(歌留多～千歳工区):調査・設計実施</p> <p>・茨木亀岡線(小泉工区):用地調査実施</p>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)	
4	京都縦貫自動車道全面開通による交流人口の獲得、及び訪日客の誘客促進により入込客増、消費額増を図ります。			
南丹地域振興計画 ①地域資源をいかした交流と賑わいの森の京都 (4)新しい時代の観光振興				
達成手段 (数値目標)	<p>オール京都丹波による誘致プロモーション等を実施することにより、観光入込客数及び観光消費額の増加を目指します。 <京都丹波地域への観光入込客数 620万人(㉔実績 599万人)> <観光客一人当たりの消費額 2,092円(㉔実績 1,837円)></p> <p>・国内観光誘致プロモーション <中部圏をはじめとする大都市圏からの誘客をねらった観光プロモーション等の実施 年2回以上(㉗新規)></p> <p><中部圏、首都圏他の旅行会社(バス会社)等への営業、ファミトリップ等の実施 年3回以上(㉗新規)></p> <p><関西圏内旅行会社等への営業 2回以上(㉗新規)></p> <p><市町へのプロモーション個別支援 10件(㉔実績 10件)></p> <p>・インバウンド誘致プロモーション <国内でのインバウンド旅行会社(ランドオペレーター)への営業 年3回以上(㉗新規)> <各種ファミトリップの支援 年3回以上(㉗新規)></p> <p><海外での観光プロモーションの実施 年1回以上(㉗新規)></p> <p><情報発信媒体の制作 多言語情報マップ2種類(㉗新規)></p> <p><京都縦貫自動車道全線開通による京都舞鶴港からの誘客促進 旅行会社への営業、商品造成の提案 年2回以上(㉗新規)></p>	◎	<p>・京都丹波地域への観光入込客数 644万人<104%> ・観光客一人当たりの消費額 1,817円<87%></p> <p>・中部圏をはじめとする大都市圏からの誘客をねらった観光プロモーション等の実施 4回<200%></p> <p>・中部圏、首都圏他の旅行会社(バス会社)等への営業、ファミトリップ等の実施 7回<230%></p> <p>・関西圏内旅行会社等への営業 4回<200%></p> <p>◎ ・市町へのプロモーション個別支援 14回<140%></p> <p>◎ ・国内でのインバウンド旅行会社(ランドオペレーター)への営業、各種ファミトリップの支援 4回<130%></p> <p>・海外での観光プロモーションの実施 2回<200%></p> <p>・情報発信媒体の制作 多言語情報マップ2種類 2種<100%></p> <p>・京都縦貫自動車道全線開通による京都舞鶴港からの誘客促進旅行会社への営業、商品造成の提案 3回<150%></p>	
	②	<p>京都丹波観光甲子園を開催します。 <域内観光資源の発掘と若年層の郷土愛の醸成をはかり、新たな観光資源を発掘するため開催 年1回(㉔実績 1回)> 優秀プランの旅行商品化に向けたモニターツアー等の実施</p>	◎	<p>◎ ・8/8開催<100%> モニターツアー開催</p>
	③	<p>京都丹波の食の魅力の情報発信を行います。 ・ジビエなど地域の食の魅力を提供できる店舗情報の情報発信 <ブログ、WEB等による情報発信 3回(㉗新規)></p>	◎	<p>◎ ・3回発信<100%></p>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
5	あらゆる危機事象への迅速・的確な対策を講じます。		
南丹地域振興計画 ②だれもが健やかで住んでみたくなるまちづくり・人づくり (5)安心・安全で住みやすいまちづくり			
達成手段 (数値目標)	<p>あらゆる危機事象への迅速かつ的確な対応を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係市町調整会議への出席、放射線監視体制の確保(環境放射線調査車、モニタリングポストによる環境放射線の測定)等により、原子力防災に係る情報の共有化を図ります。 <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域防災活動拠点における機能強化を図ります。災害発生時に迅速・的確な対応を行うため、災害対応訓練を実施するとともに、市町等関係機関と連携して防災訓練等を支援します。 違法開発案件等に対し、南丹広域機動班等・関係機関と連携して取り組みます。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 環境放射線調査車による走行サーベイ(計画どおり)実施済み:5/19、9/8、12/17、3/14 モニタリングポストによる測定データを府ホームページで公表 広域防災活動拠点開設訓練を実施(10/15) 京都府水防対応訓練や亀岡市総合防災訓練において、web会議システムを活用し、情報交換を実施 不法投棄等防止旬間パトロールを実施(5/28)するとともに、違法開発案件について、管内関係機関と連携して迅速に対応し、拡大防止に努めた。
	<p>家畜防疫体制を整備します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家畜保健衛生所と連携し、有事の際の体制を強化します。(対応マニュアル研修、実施演習の実施) <南丹管内口蹄疫初動対応マニュアル研修会の実施 1回(◎実績 1回)> <マニュアルに基づく机上演習の実施 1回(◎実績 1回)> <先遣隊研修会、実地防疫演習実施 各1回(◎実績 1回)> <p>②</p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> 南丹管内口蹄疫初動対応マニュアル研修会 1回<100%> マニュアルに基づく机上演習 1回<100%> 先遣隊研修会、実地防疫演習実施 各1回<100%>
	<p>災害に強い道路、河川等基盤整備を推進します。</p> <p>平成25年台風18号及び平成26年台風11号等の災害復旧工事の推進</p> <p>③</p> <p>園部川、本梅川:破堤箇所上下流の堤防強化の推進</p> <p>綾部宮島線(肱谷バイパス):道路、橋梁詳細設計、用地調査の実施</p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年発生災害:河川災害223箇所、道路災害45箇所の全てが完了。 平成26年発生災害:河川災害95箇所の内、80箇所が完了。道路災害13箇所の全てが完了。 園部川(横田工区):約110mの堤防補強が完了。引き続き、河川管理用通路の築造に着手。 本梅川(穴人工区):河道拡幅工事完成。 綾部宮島線(肱谷バイパス):道路詳細設計の実施
	<p>道路、河川等のインフラについて、アセット・マネジメントの手法による効率的、効果的な管理を推進します。</p> <p>④</p> <p><京都丹波の道・長寿プランに基づき、橋梁 93橋(全体487橋)、舗装 8km、トンネル(本体)3箇所(全体12箇所)の点検を実施></p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> 京都丹波の道・長寿プランに基づき、橋梁93橋(全体487橋)、舗装8.1km、トンネル(本体)3箇所(全体12箇所)の点検を実施

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
6	地域協働団体等との協働による地域づくりを推進します。		
南丹地域振興計画 ②だれもが健やかで住んでみたくなるまちづくり・人づくり (6)人権の尊重と自立と協働による思いやりと信頼の「絆」づくり			
達成手段 (数値目標)	① 地域力再生活動団体との協働による府民参画促進と活動支援を行います。 ・亀岡庁舎を活用し、地域団体と協働で、振興局の活動紹介や京都丹波の食などをPRする「京都丹波マルシェ(仮称)」や出前マルシェを開催 <50ブース、来場者数1,500人(㊟実績 7月開催41ブース、1,500人 3月開催50ブース、1,000人)> ・京都丹波の盛り上げに資するプラットフォーム事業数 <地域力再生交付金等を活用したプラットフォーム数 20件(㊟実績 15件)>	○	・休日の庁舎を活用し、地域団体と共同で「京都丹波・振興局マルシェ」を2回開催 延べ95ブース、延べ2,500人<190%、160%> (平成27年12月12日園部庁舎、54ブース、1,000人) (平成28年3月19日亀岡庁舎、41ブース、1,500人) ・プラットフォーム数 18件<90%>
	② 地域活動団体や企業等と協働した、次世代の育成を推進します。 <子どものための文化体験の数 25件(㊟実績 20件)> <子どもの社会体験事業数 17件(㊟実績 10件)>	◎	・子どものための文化体験の数 25件<100%> ・子どもの社会体験事業数 17件<100%>
	③ 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学等の連携事業に取り組み、世代間交流を推進するとともに、人材育成を図ります。 <幼小中高大連携の取組件数 8件(㊟実績 6件)>	◎	・幼小中高大連携の取組件数 12件<150%>
7	誇りを持って住み続けられる賑わいのある元気な地域づくりを進めます。		
南丹地域振興計画 ②だれもが健やかで住んでみたくなるまちづくり・人づくり (7)地域に伝わる自然や歴史・文化をいかした地域づくり			
達成手段 (数値目標)	① 市町や里の公共員と連携して、空き家の掘り起こしや活用を進めるとともに、ふるさと暮らしの情報発信を強化し、農村地域への移住定住を促進します。 <定住窓口等を通じた新規定住者の受入れ 20人(㊟実績 11人)> ① <京都丹波の暮らしぶりを見学する体感ツアーの実施 都市からの参加 20人(㊟新規)> <都市部でセミナー・相談会を実施 3回(㊟新規)> <地域再生活動に取り組む地区数 3地区(㊟実績 2地区)>	◎	・新規定住者の受入れ 23人<115%> ・体感ツアー等へ都市からの参加 48人<240%> ・都市部でセミナー・相談会を実施 3回<100%> ・地域再生活動に取り組む地区数 3地区<100%>
	② 都市住民が農村での維持保全活動(さとボラ)や農作業(おいしい食の応援隊)の応援に参加する機会を増やし、また、農山村体験の中心となる農家民宿の開業支援を行うなど、都市農山村交流を推進します。 <農家民宿の開業支援 5軒[累計:17軒](㊟実績 12軒)> <さとボラ・おいしい食の応援隊等農村ボランティアへの登録拡大:新規20人(㊟新規)>	◎	・農家民宿の開業 6軒[累計:18軒]<120%> ・農村ボランティアへの登録拡大 新規32人<160%>
	③ 過疎化・高齢化が進行する地域の里力再生のため、女性の力を活かした農山村地域の活性化、絆づくりを推進します。 ・交流や情報共有の機会が少なくなりがちな子育て世代の女性が地域で安心して暮らすことができ、活躍できる環境づくりを支援 <旧町単位での新規プラットフォームの開設 3地区以上(㊟新規)>	◎	・旧町単位での新規プラットフォームの開設 3地区<100%>
	④ 地域活動団体や企業等と協働した、次世代の育成を推進します。【再掲】 <子どものための文化体験の数 25件(㊟実績 20件)> <子どもの社会体験事業数 17件(㊟実績 10件)>	◎	・子どものための文化体験の数 25件<100%> ・子どもの社会体験事業数 17件<100%>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)	
⑤	<p>捕獲と防除の両面から農作物被害を軽減する野生鳥獣被害対策を展開します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地や森林を守る公益的な捕獲活動の担い手確保を進めるとともに、被害の大きい集落等にターゲットを絞り、被害状況を考慮した必要な恒久防護柵の設置及び適正な維持管理を促進する地域防災力キャラバンを実施 <恒久防護柵設置に向けた重点調査集落数 11集落> ・更なる捕獲圧を強化するため、生息密度が高い地域や近隣府県・市町域を超えた広域捕獲を重点的に実施 <府内で最多の実施を目標とした広域有害捕獲 16回(㉔実績 15回)> ・捕獲の担い手確保に向け、狩猟免許取得者を増やす取組を実施 <猟友会と連携して狩猟サミット等の共催 2回(㉗新規)> ・京都丹波地域有数の特産物である丹波マツタケ等の被害防除の研修会を実施 <マツタケ被害防除モデル林の設定 2地区(㉗新規)> ・総合的な対策により農作物被害を減少 <前年度比90%(㉗新規)> 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・重点調査集落 11集落<100%> ・広域有害捕獲 16回<100%> ・狩猟サミット等 2回<100%> ・マツタケ被害防除林 2地区<100%> ・農作物被害額 対前年比92%<102%> 	
⑥	<p>地球温暖化防止等の意識醸成を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次代を担う小学生に対して地球温暖化防止の周知を継続するべく「未来っ子温暖化防止授業～学校で家庭でCO2削減～」を実施(メガソーラー発電等の京都丹波地域の取組も説明)し、身近な温暖化防止対策を推進します。 <㉗～㉙の4年間で管内小学校を一巡> 		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・管内小学校30校(平成30年度見込み)の内、7校で実施済み
8 特色ある高等教育機関等をいかした人づくりを推進します。				
南丹地域振興計画 ②だれもが健やかで住んでみたくなるまちづくり・人づくり (8)地域資源をいかした次世代につながる人づくり				
達成手段 (数値目標)	<p>① 京都丹波に立地する高等教育機関や企業、農林水産技術センターと連携し、消費者や市場に近い京都丹波の強みをいかした経営力のある若い農業者や畜産後継者を育成し、地域農業の担い手・経営体を確保します。【再掲】 <「農起業塾(仮称)」を開設 就農5年程度の若者 10名(㉗新規)></p> <p><畜産創業チャレンジゼミの開設> <畜産経営継承塾を開設 技術改善に着手した畜産後継者 2名(㉗新規)></p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・京都丹波農起業塾を開設(4回実施)4回平均で11名が参加<110%> ・畜産経営継承塾を開設 ・技術改善に着手した畜産後継者 2名<100%> 	
	<p>② 地域活動団体や企業等と協働した、次世代の育成を推進します。【再掲】 <子どものための文化体験の数 25件(㉔実績 20件)></p> <p><子どもの社会体験事業数 17件(㉔実績 10件)></p>		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものための文化体験の数 25件<100%> ・子どもの社会体験事業数 17件<100%>
	<p>③ 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学等の連携事業に取り組み、世代間交流を推進するとともに、人材育成を図ります。【再掲】 <幼小中高大連携の取組件数 8件(㉔実績 6件)></p>		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小中高大連携の取組件数 12件<150%>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
9 地域ぐるみで支え合う京都丹波づくりを推進します。			
南丹地域振興計画 ②だれもが健やかで住んでみたくなるまちづくり・人づくり (9)だれもが健康で安心して暮らし支え合う「絆」づくり			
達成手段 (数値目標)	<p>【ネットワークの強化】 医療、保健、福祉、介護における多職種連携の充実を図るため、医療機関等関係機関と協働し連携システムや人材育成支援の強化を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域全ての病院長等が参加する病院連絡会議やなんたん在宅医療連携研究会等による多職種意見交換会の実施 ＜参加機関数 延べ100機関、延べ参加者300名(㉔実績 141機関、276名)＞ <p>【認知症対策】</p> <p>① 認知症になっても地域で住み続けることができる社会の実現を目指して、地域住民及び市町等と連携した啓発を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における認知症の理解を促進するため「京都丹波オレンジロードつなげ隊」による啓発活動の充実 ＜地域啓発活動3回[2市1町](㉔実績 1回)＞ <p>・認知症施策の推進を図るため認知症疾患医療センター(公立南丹病院)と地域包括支援センターとの関係を構築 ＜医療連携協議会1回・地域連絡会議5回(㉔実績 2回)＞</p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ153機関 延べ309名<153%、103%> ○なんたん在宅医療連携研究会 第1回(8/8) 51機関 97名 第2回(2/6) 40機関 75名 ○医療構想調整会議 第1回(11/9) 23機関 54名 第2回(3/16) 23機関 51名 ○地域包括支援センター合同研究会 H28.2.4 16機関 32名 <p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域啓発活動 5回<167%> 10/17 わちふれあいまつり 10/18 亀岡市民福祉のつどい 10/25 EXPO京丹波 12/12 振興局マルシェ(園部) 3/19 振興局マルシェ(亀岡) <ul style="list-style-type: none"> ・公立南丹病院認知症疾患医療連携協議会 12/2 9機関 16名(会場:公立南丹病院) ・地域連携会議(8包括) 亀岡市(あゆみ シミズ かめおか 友愛園 亀岡園) 南丹市(園部 日吉) 京丹波
	<p>【高齢者の介護予防事業の推進】 市町及びNPO法人等と連携した高齢者介護予防事業の成果の共有と普及促進支援を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町における先進的取り組み支援を推進します。 ＜地域における取り組み支援 3箇所[2市1町](㉗新規)＞ <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における介護予防支援を取り組むサポーター養成など自主活動グループへの支援を実施 ＜市民サポーター養成支援 3箇所 60名(㉗新規)＞ ・サポーター交流会の開催 ＜参加者 50名(㉗新規)＞ 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・市町介護予防事業支援(地域特性を活かした先進的取組支援) 京都式高齢者介護予防プロジェクト事業(NPO法人元気アップAGEプロジェクト:府立医大及び京都学園大学共同開発)の取組 2市1町<100%> ・市民サポーター養成事業 計182名<303%> (亀岡市 75名 南丹市 57名 京丹波町 50名) ・サポーター交流会(なんたん元気づくり体操等リーダー交流会) H28.3.23 30名参加<60%>
	<p>【がん・生活習慣病予防】 きょうと未病改善センター(仮称)等と連携した「京都丹波の健康長寿」を目指しがん・生活習慣病予防など健康づくりを住民協働で推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「運動の習慣化」の活動を推進します。 ＜運動普及イベントで協働する住民(地域リーダー)数 50名(㉔実績 36名)＞ <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食生活の改善」の活動を推進します。 ＜野菜レシピの活用団体数 10団体(㉗新規)＞ ・「喫煙防止」の活動を推進します。 ＜防煙(がん予防)教室を実施する小・中学校 10校(㉔実績 7校)＞ ・「歯の健康」の活動を推進します。 ＜歯周病予防のための禁煙支援をする歯科医療機関数 20機関(㉔実績 8機関)＞ 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・運動普及イベント 参加住民数62名 (10/20実施)<124%> <p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜レシピの活用団体数 11団体<110%> ・防煙教室の実施 17校<170%> (中学校2校、小学校15校で実施) ・禁煙支援実施の歯科医療機関数 20機関<100%>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
④	<p>【青・壮年期の食を通じた健康づくり】 青・壮年期の食を通じた健康づくりを推進します。 ・管内に立地する企業や大学の食堂と連携し、健康情報の提供や食環境を整備します。 <「けんこう食堂化」事業の展開 新規2ヶ所(㉔実績 5件)></p>	◎	<p>・「けんこう食堂化」事業の実施 2ヶ所で実施 (9/28:イシイ食品、10/23:大本教) <100%></p>
⑤	<p>【発達障害等への支援】 発達障害等の要因により育てにくさを感じる親へ寄り添い支援します。(児童虐待未然防止) ・子育てカウンセリングでの親支援や、保護者・育児関係者への「ほめて育てる育児」を推進します。 <ペアレントトレーニングの実践 保護者・関係者 延べ100名></p> <p>・発達障害児の早期支援を推進するために、専門医による発達相談やソーシャルスキルトレーニングを実施します。 <幼児期ソーシャルスキルトレーニング 延べ 40名(㉗新規)></p>	◎	<p>・ペアレントトレーニング 延べ108名<108%></p> <p>・ソーシャルスキルトレーニング 延べ88名<220%></p>
⑥	<p>【障害のある人の自立支援】 障害のある人が地域で自立するための環境づくりを進めます。 ・なんたん障害者就業・生活支援センターをはじめ、ハローワーク、京都ジョブパーク等と連携した障害者の新規就労を創出します。 <新規一般就労:30名(㉔実績 一般就労193名)></p> <p>・京都丹波オリジナルブランド「ぬくもり京都丹波」の販売促進のため、インターネットの活用やイベントへの出展等を行い、障害者の平均賃金の向上に向けた取組を進めます。 <平均工賃:月額18,500円(26年度実績 17,182円)></p>	○	<p>・新規一般就労 27名<90%></p> <p>・平均工賃:月額16,864円<86%></p>
⑦	<p>【福祉人材の確保対策及び職場定着の促進】 福祉人材の確保対策及び職場定着の促進を図ります。 ・地域の人材を掘り起こし、介護・福祉事業所の人材確保を図るため、大学とも連携するなどして福祉職場就職フェア(京都丹波地域版)を開催します。 <参加者数80名(㉔実績 36名)></p> <p>・福祉人材の職場定着のため、キャリアアップの各種研修会や若手・新規職員の交流会を開催します。 <参加者数延べ120名(㉗新規)></p>	◎	<p>・福祉職場就職フェアの開催 ○1回目:7月18日(土)<参加者:47名> ○2回目:12月5日(土)<参加者:61名></p> <p>・福祉人材定着促進のための各種研修・交流会の開催 ○「施設職員のためのメンタルヘルス研修」9月8日(水) <参加者42名> ○「障害者グループホームの世話人研修」11月11日(水) <参加者37名> ○「非正規職員のためのキャリアアップ研修」1月28日(木) <参加者62名> ○「新規採用職員交流会」9月16日(水)、2月18日(木) <参加者:64名></p>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
10	「子育て王国 京都丹波」を目指します。		
南丹地域振興計画 ②だれもが健やかで住んでみたくなるまちづくり・人づくり (9)だれもが健康で安心して暮らし支え合う「絆」づくり			
①	子育て支援機能を持つ小さな拠点(1地域以上)開設を支援します。	△	・子育て支援機能をもつ拠点整備に向けて、引き続き支援をします。 【未達成の要因・理由】 市町との連携に時間を要し、具体的な検討に至らなかったため。
②	管外の若い世代や管内の大学生向けの京都丹波PRによる魅力発信を進めます。 「意外に住みやすい京都丹波」パンフ等の発行(1万部)	◎	・フォトウェディングの誘致という新たな観点から都会の若者に京都丹波の魅力を発信し、移住につなげるため冊子及びPR動画を作成
③	市町や里の公共員と連携して、空き家の掘り起こしや活用を進めるとともに、ふるさと暮らしの情報発信を強化し、農村地域への移住定住を促進します。【再掲】 <定住窓口等を通じた新規定住者の受入れ 20人(◎実績 11人)> ③ <京都丹波の暮らしぶりを見学する体感ツアーの実施 都市からの参加 20人(◎新規)> <都市部でセミナー・相談会を実施 3回(◎新規)> <地域再生活動に取り組む地区数 3地区(◎実績 2地区)>	◎	・新規定住者の受入れ 23人<115%> ・体感ツアー等へ都市からの参加 48人<240%> ・都市部でセミナー・相談会を実施 3回<100%> ・地域再生活動に取り組む地区数 3地区<100%>
④	過疎化・高齢化が進行する地域の里力再生のため、女性の力を活かした農山村地域の活性化、絆づくりを推進します。【再掲】 ・交流や情報共有の機会が少なくなりがちな子育て世代の女性が地域で安心して暮らすことができ、活躍できる環境づくりを支援 <旧町単位での新規プラットフォームの開設 3地区以上(◎新規)>	◎	・旧町単位での新規プラットフォームの開設 3地区<100%>
⑤	若者の定着や地場産業・農業等の担い手育成を目指して京都丹波エリアの大学生等同士の交流の場を創出します。 <参加学生数 40人(◎新規)>	○	「京都丹波de恋活」イベントの開催 ・11月28日(土)開催(参加学生数:38名<95%> ・事業委託先:株式会社ビードリーム ・当日は3チームそれぞれの中で取材班と制作班に分かれ、亀岡市・南丹市・京都丹波町の魅力を伝えるPRムービーを作成。
⑥	地域の子育て支援団体・サークルの更なる育成を図ることにより、地域ニーズに応じてきめ細かな事業が実施できるよう活動支援を行います。 <支援団体数:30団体(◎新規)>	◎	活動支援として、子育て支援団体・サークル交流会の参画を呼びかけ ・1回目(10/19)開催は28団体<93%> ・2回目(3/14)開催は36団体<120%>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
11	京都縦貫自動車道全線開通による飛躍的な交通アクセス向上をいかしたものづくり産業の拠点づくり、次代のものづくり産業を担う人づくりを推進します。		
南丹地域振興計画 ③地域の活力を支える産業・農林業の振興 ⑩地域特性をいかしたものづくり産業の振興			
	① 「新京都伝統工芸ビレッジ構想」の推進 新光悦村をより府民に開かれたものとするために、「森の京都」ゆかりの素材を使い、工房と企業、デザイナー等とのコラボによる製品等の展示販売会を開催します。	◎	11月14日開催(1回)
	② 京都丹波地域への企業立地や立地企業の高度化(増設等)を促進し、ものづくり産業の振興、雇用の創出を図ります。 ＜企業立地動向や産業動向を踏まえ、京都丹波地域の実態に即した企業誘致等の取組を進めていくため、本庁、管内市町、商工会・商工会議所等で構成される地域連絡会議の開催 3回(⑰新規)＞ ＜企業立地、事業高度化(増設等)企業数 10件[新規立地3、増設等7](⑳実績 7件)＞ ＜新規雇用 100人(㉑実績 56名)＞	△	・地域連絡会議の開催 4回<133%> ・企業立地、事業高度化(増設等)企業数 4件<40%> ・新規雇用 52名<52%> 【未達成の要因・理由】 他にも当地域に進出を希望する企業からの引き合い・相談があったが、適切な用地の不足などにより進出決定までには至らなかった。 今後も、管内市町と連携し、空き工場用地の情報把握に努めるとともに、将来的な都市計画区域の見直しも含め、事業用地の確保等に努めていく。
	③ 立地企業のスムーズな操業開始・高度化(増設等)に向け、関係機関とワンストップ対応できる体制を強化し、きめ細やかなフォローを実施します。 ＜プロジェクトチーム内連絡会・情報共有 7回(㉒実績 5回)＞	◎	・7回<100%>
	④ 中小企業者のニーズに即応するため、ハンズオン支援体制の強化を図ります。 ＜市町、商工会・商工会議所、京都産業21等との連携強化を図り、チーム力を発揮し、現地現場で顔の見える支援を行うためのネットワーク会議の開催 4回(㉓新規)＞ ＜中小企業応援隊の活動充実のため、情報共有・スキルアップを目指す地域連絡会議の実施 参加経営支援員数 延べ60人(㉔実績 57人)＞	◎	・ネットワーク会議の開催 6回<150%> ・参加経営支援員数 62人<103%>
達成手段 (数値目標)	⑤ 現地現場において、チーム力を発揮し、中小企業の経営の安定・発展をサポートします。 ＜経営のお役立ち情報をタイムリーに情報提供 メール配信 60回(㉕新規)＞ ＜経営の安定・発展を目指す中小企業へのハンズオン支援の実施 企業訪問 120件(㉖実績 110件)＞ ＜新たな成長ステージを目指す中小企業応援セミナー・施策説明会の開催 4回(㉗新規)＞ ＜経営の安定・発展を目指す中小企業へ助成金・補助金等の活用支援 32件(㉘実績 28件)＞ ＜京都府認証制度等(経営革新承認・元気印中小企業認定・知恵の経営認証等)の認定取得サポート サポート企業数 10社(㉙新規)＞	○	・メール配信 62回<103%> ・ハンズオン支援の実施 159件<133%> ・中小企業応援セミナー・施策説明会 4回<100%> ・助成金・補助金等の活用支援 30件<94%> ・認定取得サポート 22社<220%>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
	⑥ 各企業の強みを生かした連携、新たな成長ステージを目指す事業展開等につながるよう、企業間の交流を促進し、ネットワーク化を進めます。 ＜情報交換会 参加企業数 延べ100社(⑥実績 65社)＞	◎	・110社<110%>
	京都ジョブパーク等との連携により、京都丹波地域における雇用や就業を支援します。 ＜管内でのJPカレッジ・JPセミナーの開催 1回(⑦新規)＞ ⑦ <管内企業の雇用ニーズの把握 100社(⑦新規)＞ ＜京都丹波若者サポートステーション等関係機関との情報共有 10回(⑦新規)＞	◎	・JPカレッジ・JPセミナーの開催 1回<100%> ・雇用ニーズの把握 136社<136%> ・関係機関との情報共有 10回<100%>
	地域一体となった、ものづくり人材の育成を進めていくため、地元のものづくり企業と南丹高校テクニカル工学系列等との連携を推進します。 ＜京都中部ものづくり教育パートナー企業等との懇談会 1回(⑦新規)＞ ⑧ <南丹高校テクニカル工学系列等における人材育成支援(企業見学、企業からの講師派遣等の支援)参加人数 40人>	◎	・懇談会 1回<100%> ・人材育成支援参加人数 51人<128%>
	⑨ 中学生の「ものづくりなどの産業への関心・興味」を醸成するための取組を進めます。 ＜中学校の授業での活用等も視野に入れた京都丹波産業ナビ(仮称)の作成 1回(⑦新規)＞	◎	・1回<100%>
12 地域の食材を楽しめる商店街、京都サンガタウンとして観光客を集客できる商店街、地域コミュニティの担い手である商店街など、元気で魅力ある商店街・個店づくりを応援します。	◎	◎	
南丹地域振興計画 ③地域の活力を支える産業・農林業の振興 (11)地域の強みやチャンスをいかした、元気で魅力ある商店街・個店づくり			
達成手段 (数値目標)	① それぞれの商店街・個店のニーズ把握に努め、支援施策の活用支援等を通じ、賑わいと交流による活性化を支援します。 ＜地域の特色を活かした商店街づくりのための施策活用支援 5件(⑦新規)＞	◎	・7件<140%>
	② 京都丹波の知名度向上や地域の特産品・名品などの販路拡大等のための、物産展等への参画等を支援します。 ＜物産展等への参加事業者数 20社(⑦新規)＞	◎	・48社<240%>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
13	就農時から、管内の各種企業経営者や志を同じくする者、大学等の研究者と交流できる仕組みの整備等を行うことで、経営者マインドを醸成し、企業的経営を志す経営体の育成を図ります。		
南丹地域振興計画 ③地域の活力を支える産業・農林業の振興 (12)農商工連携を軸にした年商1億円をめざす経営体の育成			
達成手段 (数値目標)	① ◇研修期～就農時【認定新規就農者の確保】 農業の新たな担い手の確保・定着を図ります。 ＜就農を控えた人が目標所得を得られる営農計画と施設・機械等を整備する資金計画を支援 11人(㉗新規)＞ ＜定年退職等して就農する人が営農技術と機械メンテナンスを習得して農地保全等に貢献する講座を受講して技術習得 定年帰農者等全員(約20名)(㉗新規)＞	○	・資金計画を支援(実績:11人)<100%> ・定年帰農者等全員(実績:15人)<75%> 講義レベルが基礎的との声があり、応用的な内容を加えたため、未経験者の理解度が低くなった。
	② ◇就農時～【経営者マインドの形成】 消費者や市場に近い京都丹波の強みを生かし、経営力のある若い農業者や畜産後継者を育成し、地域農業の担い手・経営体を確保します。 ＜「農起業塾(仮称)」を開設(就農5年程度の若者10名)(㉗新規)＞ ＜畜産創業チャレンジゼミの開設＞ ＜畜産経営継承塾を開設 技術改善に着手した畜産後継者 2名(㉗新規)＞	◎	・京都丹波農起業塾を開設(4回実施) 4回平均で11名が参加<110%> ・畜産経営継承塾を開設 ・技術改善に着手した畜産後継者 2名<100%>
	③ ◇経営展開期 【年商1億円実現支援】 農業者等と商工業者とのマッチングを通じ商品開発を進めるとともに、新たな農業ビジネス等の展開を支援します。 ＜ビジネスネットの運営による効率的な農商工連携環境の整備＞ ＜京都丹波アグリネット等を通じた新商品開発や販路開拓により就業機会を拡大 新たな商品開発件数 3件(㉖実績 8件)＞ ＜農産物や加工品等の年間販売額が1億円を超える農業法人の数 新たに1件(㉖実績 20経営体)＞ ＜法人等の安定した黒字経営の実現 年度別売上目標を達成する企業的法人数 4(㉗新規)＞ ＜家業とは異なる事業分野に経営展開を図る認定農業者 4戸(㉗新規)＞	△	・ビジネスネットと農起業塾の統合により連携環境を整備 ・新たな商品開発件数 3件<100%> ・農産物や加工品等の年間販売額が1億円を超える農業法人の数 1件<100%> △ ・法人等の安定した黒字経営の実現 年度別売上目標を達成する企業的法人数 2法人<50%> 【未達成の要因・理由】 4法人を見込んでいたが、1法人はエダママが被害で全滅し、1法人は経営変革のため、役員体制を3名から1名に変更して規模を縮小したため達成できなかったもの。 ・家業とは異なる事業分野に経営展開を図る認定農業者 1戸<25%> 【未達成の要因・理由】 取引先との調整が不調になったり、計画どおり販売物の集荷ができなかったため。

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
14	地元の企業との連携強化による新たな特産品の育成や担い手への農地集積、地産地消の推進などで儲かるビジネスを実現します。		
南丹地域振興計画 ③地域の活力を支える産業・農林業の振興 (13)水田農業の大転換も見据えた集落営農の法人化による地場産業としての農業振興			
①	<p>集落営農組織を中心に黒大豆の機械化を進めるとともに、ブランド京野菜では紫ずきん等の分業化や省力機械化による規模拡大、丹波くりは新規植栽の推進による面積拡大を進めます。</p> <p>・黒大豆の機械化栽培体系による品質向上(L級以上の収量増)。 <国営ほ場整備等の大区画水田でのL級以上の収量 50kg/10a(㉗新規)></p> <p>・紫ずきんの分業化・省力機械化による鮮度維持(高糖度)を保持できる作業体系を確立 <2ha規模の栽培農家数 1戸(㉗新規)></p> <p>・集落営農の法人化による地場産業としての農業振興 <集落型営農法人の増加 1法人(㉖実績 0法人)></p>	△	<p>・黒大豆L級以上の収量(実績:32.7kg/10a)<65%> 【未達成の要因・理由】 開花期前後の株内の蒸れにより、着莢数が減少した。登熟期の気温が高く、しわ粒が増加したため。</p> <p>・紫ずきん2ha規模の栽培農家数(実績:0戸) 【未達成の要因・理由】 27調査を行った結果、2ha規模の経営は、機械装備等の状況から労力的に困難と判明したため、枝豆1.5ha+乾豆0.5ha規模の経営に変更し、経営体の育成を図っていきたい。</p> <p>・集落営農法人の増加 1法人<100%></p>
②	<p>京都丹波産米の特A評価の獲得、酒造好適米の品質向上と生産拡大、飼料用米・稲WCSの作付拡大を支援します。</p> <p>・需要のある水稻品種への転換や技術情報をきめ細やかな提供を通じ、特A評価の獲得を目指す。</p> <p>・府酒造連が要望する酒造好適米の出荷量と一等米比率の実現。 <祝:生産量73t、一等米比率50%(㉖実績 70t)> <京の輝き:生産量295t、一等米比率70%(㉖実績 26t)></p> <p>・戦略作物(「京かんざし」、黒大豆エダマメ、丹波くり)の栽培面積の拡大 <「京かんざし」、黒大豆エダマメ、丹波くりの栽培面積 96ha(㉖実績 95ha)></p> <p>・耕畜連携による飼料用米、稲WCSの作付面積の増加と生産利用拡大。 <稲WCS 36ha、飼料用米 41ha(㉖実績 稲WCS 31ha、飼料用米 39ha)></p>	◎	<p>・コシヒカリ A'、キヌヒカリ A'</p> <p>・祝 生産量(実績:88t)、一等米比率(実績:44%) 京の輝き 生産量(実績:291t)、一等米比率(実績:93%)</p> <p>・101ha<105%> 京かんざし(実績:0.6ha)、黒大豆エダマメ(実績:29ha)、丹波くり(実績:71ha)</p> <p>・稲WCS 52ha、飼料米 37ha<115%></p>
③	<p>荒廃農地の再生等くり園地の拡大とこだわり栽培技術講習会等の実施により、商品価値の高い「ブランド産品」の取組を推進します。</p> <p><新植 1ha、せんだ講習会等 2回、2L以上の出荷割合 6割以上(㉖実績 新植 1ha、2L以上の出荷割合 7割)></p>	○	<p>・くり園地の拡大等 <新植1ha、せんだ講習会2回、2L以上割合 5.5割></p>
④	<p>余剰生産物をいかした地ビール、加工品の生産・販売にチャレンジします。</p> <p><黒大豆下級品を活用して健康づくり加工品を開発するために大学、企業等と情報交換 5社(食品・調味料製造、加工品販売等)と製品イメージの共有(㉗新規)></p> <p><亀岡ブリュワリープロジェクト(仮称)を立ち上げ、地元産原材料による地ビールづくりを展開 試験醸造 1回(㉗新規)></p>	○	<p>・黒大豆下級品活用(実績:学園大学、府立大学、竹岡 醤油、フジッコ、たにぐち) 情報、助言はいただいたが、製品のイメージの共有までは至らなかった。</p> <p>・地ビール試験醸造(実績:1回)</p>
⑤	<p>新しい地域特産物を使った新商品の開発を支援します。</p> <p><京都丹波アグリネット等を通じた新商品開発 新たな商品開発件数 3件(㉖実績 8件)></p>	◎	<p>・アグリネット 新たな商品開発件数 3件<100%></p>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
達成手段 (数値目標)	⑥ 京都丹波の特産である五色の豆「小豆(赤)、黒大豆(黒)、紫ずきん(紫)、大豆(黄)、京白丹波(白)」を活用したスイーツや土産物として新たな地域特産品の開発を進めます。 ＜京都丹波豆ONEグランプリの開催 1回(㉗新規)＞	○ ◎	・京都丹波「豆ONEグランプリ2015」の開催 1回<100%>
	⑦ 薬膳やハーブ料理、リキュール等、農業者と商工業者、農業者と医療関係者との地域内連携を推進し、地場食品産業と結び付いた健康食の開発や普及に取り組みます。 ＜試作品1品・ツアー1回(㉗新規)＞	◎	・試作品チョコロギ甘酒、ツアー薬膳料理教室等 4回<400%>
	⑧ 地域農業で中核となる担い手の規模拡大や農地集積を支援するため、京力農場プランの作成を支援。 ＜国営ほ場整備地区(444ha)内の営農組織毎に構成員全員でプランを検討 6地区(㉖実績 3地区)＞	◎	・営農組織ごとに京力農場プランを検討 6地区<100%>
	⑨ 耕作が困難又は放棄された農地について、農地中間管理事業等による担い手の確保又は再生可能エネルギー施設用地等、農地以外の有効活用を推進します。 ＜管内耕作放棄地解消面積 10ha(㉗新規)＞ ＜農地中間管理事業による貸付農地面積 20ha(㉗新規)＞	◎	・耕作放棄地面積解消面積 21ha<210%> ・貸付農地面積 88ha<440%>
	⑩ 府営農業基盤整備事業の計画的な事業実施 ＜経営体育成基盤整備事業 川東地区 換地処分登記 2工区(㉖実績 1工区)＞ ＜農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 千歳地区 農道舗装 L=950m、地域住民参加のもと、桜の木の植樹【事業完了】＞ ＜基幹水利施設ストックマネジメント事業 新庄地区 洪水吐2門(㉖実績 1門)＞ ＜農村地域防災減災事業 大石ヶ谷池地区 ため池堤体工 L=79m、法面保護工 一式【事業完了】＞ ＜農業用河川工作物応急対策事業 上桂川地区 実施設計 一式(㉗新規)＞	△	・経営体育成基盤整備事業 川東地区 未完了△ 【未達成の要因・理由】 地元調整の結果、同意形成に時間を要し1工区のみ実施となったため。 ・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 完了◎ ・基幹水利施設ストックマネジメント事業 未完了△ 【未達成の要因・理由】 施工性・安全性を考慮し、事業計画を変更したため。 例：H27.H28の債務負担工事に付き、工事発注後施工性・安全性を考慮し、施工計画を請負業者策定の結果、H27とH28の施工計画を入れ替え実施等 ・農村地域防災減災事業 未完了△ 【未達成の要因・理由】 法面保護工法の比較検討、地元の費用負担・維持管理に関する調整に時間を要し、湛水期となり施工できなかったため。 ・農業用河川工作物応急対策事業 完了◎
	⑪ 地産地消クイズラリー等を通じて、生産者と消費者が接する機会を増やします。また、直売所の効率的な運営をめざした伴走型支援を行います。 ＜農産物直売所の販売金額 19億円(㉖実績 18.2億円)＞ ＜京都丹波・地産地消クイズラリー応募者 500人(㉖実績 298人)＞ ＜消費者と生産者の意見交流会 1回(㉗新規)＞	◎	・販売金額 調査中 推定19億円<100%> ・応募者 503人<101%> ・意見交流回 1回<100%>
⑫ 都市住民が農村での維持保全活動(さとボラ)や農作業(おいしい食の応援隊)の応援に参加する機会を増やし、また、農山村体験の中心となる農家民宿の開業支援を行うなど、都市農山村交流を推進します。【再掲】 ＜ワンストップ相談窓口を活用した農家民宿の開業支援 農家民宿開業:5軒[累計:17軒](㉖実績 12軒)＞ ＜さとボラ・おいしい食の応援隊等農村ボランティアへの登録拡大:新規20人(㉗新規)＞	◎	・農家民宿の開業 6軒[累計:18軒]<120%> ・農村ボランティアへの登録拡大 新規32人<160%>	

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
	<p>学校給食や企業食堂での地元農産物の利用拡大、「きょうと食いく先生」を活用した食育の推進等により、地産地消をさらに進めます。</p> <p>⑬ <管内教育機関への「食いく先生」の派遣件数 5件(㉔実績 2件)></p>	△	<p>・派遣件数 3件<60%> 【未達成の要因・理由】 事業制度が変更となり交通費のみの支援となったため、近隣での食育活動については本制度を活用せず実施されたため。食いく先生の活動回数は目標を越え実施。(7回)</p>
15	<p>障害者等の就労支援、高齢者の生きがいづくり等、社会的弱者の方にも対応した新たな付加価値のある「福祉農業」を創造し、ビジネスとして展開します。</p> <p>南丹地域振興計画 ③地域の活力を支える産業・農林業の振興 (14)農業・農村資源をいかした「福祉農業」の創造とビジネス展開</p>		
達成手段 (数値目標)	<p>① ユニバーサル農業(福祉農業)の管内での定着を目指したロードマップの策定につながる、勉強会、資料収集、事例分析について、行政、福祉施設、民間企業等が協働して取り組みます。 <管内事例調査・分析 6カ所(㉗新規)> <管内事例のヒアリング 3カ所(㉗新規)> <行政、医療、福祉関係者による情報交換及び意見交換会の開催 1回(㉗新規)></p> <p>② 障害のある人が地域で自立するための環境づくり【再掲】 ・なんたん障害者就業・生活支援センターをはじめ、ハローワーク、京都ジョブパーク等と連携した障害者の新規就労を創出します。 <新規一般就労:30名(㉔実績 一般就労193名)> ・京都丹波オリジナルブランド「ぬくもり京都丹波」の販売促進等により、障害者の平均賃金の向上に向けた取組を進めます。 <平均工賃:月額18,500円(26年度実績 17,182円)></p>	○	<p>・調査・分析 4カ所<67%> ・ヒアリング 4カ所<133%> ・意見交換会 1回<100%></p> <p>・新規一般就労 27名<90%> ・平均工賃:月額16,864円<86%></p>
16	<p>安心・安全な災害に強いまちづくりを推進します。</p> <p>南丹地域振興計画 ④安心・安全と交流を支える基盤整備 (15)安心・安全な災害に強いまちづくり</p>		
①	<p>桂川等の河川改修を推進します。 桂川改修:工事の推進 園部川改修:工事の推進 田原川改修:用地買収、工事の推進 千々川・雑水川の改修:用地買収、工事の推進 高屋川と須知川:浸水被害の軽減</p>	○	<p>・桂川: 高水敷掘削を推進中 ・園部川: 南丹広域振興局より上流の河川工事を推進中 ・田原川: 新規工区の用地交渉を推進中 ・千々川: 河川工事を推進中 雑水川: 工事発注のため、地元交渉を継続中 ・高屋川: 地元調整に時間を要し、工事発注を中止 須知川: 改修計画について同意を得るため、地元説明中</p>
②	<p>土砂災害から生命・財産を守るための砂防設備を整備します。 英サ谷川(美山町島):法面工事の推進 篠原西一谷川(京丹波町篠原):用地買収の推進</p>	◎	<p>・英サ谷川(美山町島):法面工事の推進 ・篠原西一谷川(京丹波町篠原):用地買収の推進</p>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)	
達成手段 (数値目標)	<p>災害に強い道路、河川、砂防等基盤整備を推進します。 平成25年台風18号及び平成26年台風11号等の災害復旧工事の推進</p> <p>③ 園部川、本梅川:破堤箇所上下流の堤防強化の推進</p> <p>綾部宮島線(肱谷バイパス):道路、橋梁詳細設計、用地調査の実施</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年発生災害:河川災害223箇所、道路災害45箇所の全てが完了。 ・平成26年発生災害:河川災害95箇所の内、80箇所が完了。道路災害13箇所の全てが完了。 ・園部川(横田工区):約110mの堤防補強が完了。引き続き、河川管理用通路の築造に着手。 ・本梅川(央人工区):河道拡幅工事完成。 ・綾部宮島線(肱谷バイパス):道路詳細設計の実施 	
	<p>緊急輸送道路ネットワークの整備を推進します。 国道372号(南八田道路):工事の推進</p> <p>亀岡園部線(千歳北工区):埋蔵文化財調査の実施及び工事の推進</p> <p>枚方亀岡線(歌留多～千歳工区):調査、設計の実施</p> <p>④ 茨木亀岡線(小泉工区):調査の実施</p> <p>綾部宮島線(肱谷バイパス):道路、橋梁詳細設計、用地調査の実施</p> <p>園部平屋線(殿田工区):用地買収、工事の推進</p> <p>国道423号(曾我部橋):橋梁耐震化工事の完了</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・国道372号(南八田道路):工事の推進 ・亀岡園部線(千歳北工区):埋蔵文化財調査及び工事の推進 ・枚方亀岡線(歌留多～千歳工区):調査・設計実施 ◎ 茨木亀岡線(小泉工区):用地調査実施 ・綾部宮島線(肱谷バイパス):道路詳細設計の実施 ・園部平屋線(殿田工区):河川側用地買収完了、工事の推進 ・国道423号(曾我部橋):耐震化工事完成 	
	<p>⑤ 積雪の多い地域において、円滑な道路交通を確保します。 国道162号(盛郷):堆雪帯整備工事に向けた用地買収の推進</p>		◎	・国道162号(盛郷):堆雪帯整備工事に向けた用地買収の推進
	<p>⑥ バイパスの新設や改良工事により異常気象時の通行規制の緩和・解消を推進します。 舞鶴和知線:法面対策工事の実施 国道423号(法貴バイパス):調査、設計の実施</p>		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴和知線:工事の推進、基準見直し検討会議開催 ・国道423号(法貴バイパス):用地調査、道路・橋梁設計実施
	<p>⑦ アセット・マネジメントを推進します。 <京都丹波の道・長寿プランに基づき、橋梁 93橋(全体487橋)、舗装 8km、トンネル(本体)3箇所(全体12箇所)の点検を実施></p>		◎	・京都丹波の道・長寿プランに基づき、橋梁 93橋(全体487橋)、舗装8.1km、トンネル(本体)3箇所(全体12箇所)の点検を実施
	<p>⑧ 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の指定を推進します。 <3,170箇所指定[全体約3,850箇所の82%](◎実績 2,494箇所 65%)></p>		○	・土砂災害警戒区域 3,122箇所指定(全体3,849箇所の81%)
	<p>⑨ 河川防災カメラ等、防災情報の発信、充実を図ります。 山本樋門に監視カメラを設置し、防災情報を発信</p>		◎	・山本樋門に監視カメラを設置し、防災情報を発信
	<p>⑩ 歩道設置等安全対策を推進します。 学校や地域と連携した通学路点検及び安全対策の実施、歩道整備の推進</p> <p>郷ノ口余部線(宇津根橋):用地買収の推進、工事着手</p> <p>(都)並河亀岡停車場線:用地買収及び工事の推進</p>		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域と連携した通学路点検及び安全対策の実施、歩道整備の推進 ・郷ノ口余部線(宇津根橋):用地買収及びP1橋脚工事着手 ・(都)並河亀岡停車場線:用地買収及び工事の推進

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
⑪	<p>大規模地震に備えた住宅の耐震化を促進します。 耐震診断補助事業及び耐震改修助成事業を2市1町で実施するとともに、制度周知のための広報活動を市町と連携して実施</p> <p>木造住宅の耐震診断、耐震改修の戸数増を図る <耐震改修19戸></p>	◎	<p>・次の各行事において、木造住宅耐震の普及啓発、耐震模型実演等を実施。 9月：亀岡市総合防災訓練 10月：南丹市総合防災訓練 11月：美山ふるさと祭</p> <p>・木造住宅の耐震診断、耐震改修の戸数増。<耐震改修22戸></p>
⑫	<p>京都丹波2市1町とともに、地域防災力の向上を図るため、京都丹波安心・安全マップを作成するとともに、避難経路案内板を設置します。</p>	○	<p>・京都丹波2市1町とともに、多国語に対応した避難経路案内板を管内9箇所に設置 ・管内住民が自らの安心・安全を確保するため、地域の危険箇所を認識できる、ハザードマップ作成のためのワークショップを開催するとともに、洪水や土砂災害発生時等の対処法を掲載した啓発パネルを作成し、地域防災力を向上</p>
⑬	<p>ため池災害など未然に防止するため、ため池などの減災防災対策を進めます。 ・ため池管理者及び周辺住民のため池に対する防災意識の向上を図り、市町と連携してため池災害の減災防災を実施 (ハザードマップの作成、危険ため池の計画的改修) <危険ため池の整備改修 2池(㊟実績 2池)></p> <p><ため池の耐震調査及び改修に向けた調査・設計 4池(㊟実績 3池)></p> <p><ため池管理保全管理協定の締結 1箇所(㊟実績 1箇所)></p> <p>・農業用水利施設、農業集落排水施設等のインフラ長寿命化計画を推進 基幹農業用水利施設の機能保全対策として施設監視計画にもとづく監視手法の研修 <上柱統合堰・蓼島統合堰・新庄頭首工 各1回 計3回(㊟新規)></p> <p><農業集落排水施設の長寿命化に向けた最適整備構想の策定 2地区(㊟実績 2地区)></p>	◎	<p>・ため池改修 2地区<100%></p> <p>・耐震・調査・設計 4池<100%></p> <p>・管理協定 1箇所<100%></p> <p>・水利施設等のインフラ長寿命化研修 3回<100%></p> <p>・最適整備構想策定 2地区<100%></p>
⑭	<p>台風18号や台風11号による林地被害の早期復旧を進めます。 ・地域住民及び森林所有者の合意形成を円滑に進め、林地災害の復旧対策を早急に着手 (平成25年発生台風18号や平成26年発生台風11号の被災箇所)</p> <p><復旧治山：京丹波町安井 1箇所></p> <p><予防治山：亀岡市千歳町、亀岡市ひえ田野町、南丹市日吉町殿田 3箇所></p>	△	<p>・復旧治山：1箇所中1箇所着手</p> <p>・予防治山：3箇所中2箇所着手 計 4箇所中3箇所着手<75%> 【未達成の理由・理由】 地権者との調整のため。</p>
⑮	<p>ため池や山地災害による人的被害を防ぐとともに、地域の防災意識を高めるため、ため池氾濫及び山地災害を入れ込んだ集落ハザードマップを作成します。 <ため池ハザードマップの作成 6池(㊟実績5池)></p> <p><山地災害ハザードマップの調査・作成 8地区(㊟新規)></p>	◎	<p>・ため池ハザードマップの作成 6池<100%></p> <p>・山地災害ハザードマップの調査・作成 8地区<100%></p>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
17	明日の「京都丹波」の礎を築く交流の郷づくりを推進します。		
南丹地域振興計画 ④安心・安全と交流を支える基盤整備 (16)明日の「京都丹波」の礎を築く交流の郷づくり			
達成手段 (数値目標)	① 大阪方面との交流拡大のための道路整備を検討します。 枚方亀岡線(歌留多～千歳工区):調査、設計の実施 茨木亀岡線(小泉工区):調査の実施	◎	◎ 枚方亀岡線(歌留多～千歳工区):調査、設計実施 ◎ 茨木亀岡線(小泉工区):用地調査実施
	② 災害時等における孤立集落の発生を防止するための道路整備を進めます。 京都広河原美山線(美山町田歌他):法面工事の実施		◎ 京都広河原美山線(美山町田歌他):法面工事の実施
	③ 土地区画整理事業や圃場整備と一体となった道路整備を進めます。 国道423号(法貴バイパス):調査、設計の実施		◎ 国道423号(法貴バイパス):用地調査、道路・橋梁設計実施
	④ 「保津川かわまちづくり計画」に基づき、にぎわいの拠点整備等の取組を推進します。 にぎわいの拠点(山本浜)の護岸整備:工事の推進		◎ にぎわい拠点となる高水敷の掘削が完了
	⑤ まちづくりと連携した河川整備を推進します。 東所川:八木駅西土地区画整理事業の進捗に合わせた整備の推進 法貴谷川:国営緊急農地再編整備事業の進捗に合わせた整備の推進		◎ 東所川:八木駅西土地区画整理事業の進捗に合わせた用地取得を推進中 ◎ 法貴谷川:国営緊急農地再編整備事業の進捗に合わせた整備を推進中

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
18	交流の基盤となる交通ネットワークを整備します。		
南丹地域振興計画	④安心・安全と交流を支える基盤整備 (17)交流の基盤となる交通ネットワークの整備		
達成手段 (数値目標)	① 京都縦貫自動車道の各インターチェンジへのアクセス道路を整備します。 国道477号(西田大藪道路):用地買収の推進	◎	・国道477号(西田大藪道路):用地買収実施
	② 国道9号へのアクセス道路を整備します。 郷ノ口余部線(宇津根橋):用地買収の推進、工事着手	◎	・郷ノ口余部線(宇津根橋):用地買収及びP1橋脚工事着手
	③ JR山陰本線の各駅へのアクセス道路を整備します。 園部停車場線:用地買収の推進	◎	・園部停車場線:用地買収実施。
	④ 地域振興、地域観光に寄与する道路の整備を推進します。 国道423号(法貴バイパス):調査、設計の実施 綾部宮島線(脇谷バイパス):道路、橋梁詳細設計、用地調査の実施 国道372号(南八田道路):工事の推進 国道477号(西田大藪道路):用地買収の推進 亀岡園部線(千歳北工区):埋蔵文化財調査の実施及び工事の推進 郷ノ口余部線(宇津根橋):用地買収の推進、工事着手 園部平屋線(殿田工区):用地買収、工事の推進 宮前千歳線(鳴滝工区):工事の推進 京都広河原美山線(内久保バイパス):用地取得、工事の推進	○	・国道423号(法貴バイパス):用地調査、道路・橋梁設計実施 ・綾部宮島線(脇谷バイパス):道路詳細設計の実施 ・国道372号(南八田道路):工事の推進 ・国道477号(西田大藪道路):用地買収実施 ◎ 亀岡園部線(千歳北工区):埋蔵文化財調査、工事実施 ・郷ノ口余部線(宇津根橋):用地買収及びP1橋脚工事着手 ・園部平屋線(殿田工区):川側用地買収完了、工事の推進 ・宮前千歳線(鳴滝工区):工事の実施 ・京都広河原美山線(内久保バイパス):平成28年度の完成に向け、用地買収完了、工事推進
	⑤ 1.5車線の道路整備の推進 京丹波三和線(和田工区):人家連担区間の工事の推進 京都日吉美山線(畑郷工区):用地買収、工事の推進 舞鶴和知線(仏主工区):工事の推進 中地日吉線(中世木工区):一連工区の完成及び計画の延伸	○	・京丹波三和線(和田工区):人家連担区間の工事の推進 ・京都日吉美山線(畑郷工区):用地立会実施 ・舞鶴和知線(仏主工区):工事の推進 ・中地日吉線(中世木工区):工事実施、延伸計画の策定

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
19	府民と一体となった人にやさしい地域づくりを推進します。		
南丹地域振興計画	④安心・安全と交流を支える基盤整備 (18)豊かな自然環境の保全と快適で人にやさしい地域づくり		
達成手段 (数値目標)	① 工事説明会、見学会、ワークショップを開催して、地域住民の意見を取り入れて 道路河川の整備を推進します。 教育局と土木事務所とのコラボ事業の実施:管内の小学校を対象に拡充 さわやかボランティア・ロード事業、南丹ふるさとの川愛護事業等、府民協働の推進 <参加者 5,000人(㊟実績 5,247人)>	○	・教育局と土木事務所のコラボ事業の実施 (管内の3小学校で実施) ・さわやかボランティア・ロード事業、南丹ふるさとの川愛護事業等、府民協働の推進参加者 4,083人
	② 児童等が安全に通学できるよう、堤防通路の通学路としての活用を推進します。 年谷川(亀岡市中矢田町):堤防の散策路整備計画に基づく実施設計の作成 通学路等の歩道整備の計画的な推進:L=1,500m	○	・年谷川(亀岡市中矢田町):散策路整備の実施設計を作成 ・通学路等の歩道整備の計画的な推進:L=1,450m
	③ 「保津川かわまちづくり」を推進(川の自然を感じる交流・ふれあいの場創出)します。 にぎわいの拠点(山本浜)の護岸整備:工事の推進	◎	・にぎわい拠点となる高水敷の掘削完了
	④ アユモドキの保全を進めます。 地元及び研究者と連携し、生息環境の保全再生	◎	・アユモドキに配慮した桂川改修に係るアドバイザー一会議において、生息環境の保全に向けた調査を実施
	⑤ 医療機関や福祉施設等へのアクセス道路の整備を推進します。 国道477号(西田大藪道路):用地買収の推進	◎	・国道477号(西田大藪道路):用地買収実施
	⑥ 景観資産、日本風景街道が広く認識されるよう、広報・啓発を実施します。 美山ふるさと祭において広報・啓発活動を実施	◎	・美山ふるさと祭において広報・啓発活動を実施

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
20	京都丹波の地域ブランドを国内外に情報発信します。		
南丹地域振興計画 ⑤「京都丹波」ブランドの国内外への発信 (19)「京都丹波」の地域ブランドの国内外への発信により、人を呼び込み、元気なまちづくり			
	<p>京都丹波の「見せる化」広報戦略プロジェクトを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都丹波スポーツ観光ポータルサイト開設によるスポーツ観光の推進【再掲】 ・道の駅等を活用した情報発信 ・京都丹波ガイド ＜毎月1万部発行、メルマガ1,500人(㉔実績 1,000人)＞ ・府名誉友好大使によるフェイスブック情報発信Amazing Kyoto Tamba ＜ツアー3回(㉔実績 1回)＞ 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・HP構築は完了。公開は4月以降(府・京都市が共同運営の京都動物愛護センターHPが不正アクセスで改ざんされ閉鎖。当局HPも同一の業者が構築したことから閉鎖され施設入力作業ができないことから年度内の公開は困難となったもの) ・「京丹波 味夢の里」開業にあわせ、8駅PRリーフレットを作成する他、局が主体のイベントチラシ等について、各道の駅にラックを提供し配架 ・京都丹波の旬な情報を約1,000人に発信 ・ツアー2回実施(第1弾:出雲風流花踊りなど、第2弾:へき亭にて手まり寿司体験)
	<p>京都丹波・写ガール隊による情報発信を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェイスブックによる情報発信 ＜年間500回発信、3,000いいね(㉔実績 332回、約1,400いいね)＞ ・公募写ガール ＜管内の大学生等の新規隊員30人増(㉔新規)＞ 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスブックによる発信 ＜実績:年間180回発信、1,928いいね><36%、64%＞ ・公募写ガール ＜府立大学生や市町職員など新規隊員13人増><43%＞ <p>【未達成の要因・理由】 積極的な活動ができる隊員が少なく、情報発信の回数が減り、それに伴い、いいね数(ファン数)が伸びなかったと考えられる。また、新規隊員に向けた勧誘活動は行ったものの目標人数の獲得には至らなかった。ただ、写ガール隊への各種イベントへの参加オファーは増えてきており、地元の期待は大きくなっている。</p>
	<p>京都丹波の道の駅～7彩+1味夢の里～を「森の京都」のウェルカムゲートに位置付け【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の利用者数の拡大 ＜利用者数 330万人[レジカウンター](㉔実績 278万人)＞ ・道の駅に関するインターネット調査とこれを踏まえた事業展開 ＜対象1,000人以上(㉔新規)＞ ・外国人や他府県からの観光客をターゲットとした情報発信 ＜情報発信媒体の制作 パンフレット20,000部(㉔新規)＞ 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・京都縦貫自動車道路の全線開通及び新しくオープンした道の駅「京丹波味夢の里」の影響により、利用者数は増加<利用者数 365万人[レジカウンター]><111%> ・京阪神20～60代以上の各世代男女約100人(計1,000人)にネットリサーチを実施。縦貫開通後、状態が落ち着くのを待って実施することとしたため開始が2月となり、結果を踏まえた事業展開は来年度以降 ・スタンプラリー、一押し駅弁・スイーツ、森の京都のPR等掲載のパンフ20,000部発行
達成手段 (数値目標)			

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
	<p>食や文化による賑わいづくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都縦貫開通「京丹波味夢の里」と丹波自然運動公園を活かす「京都丹波 EXPO」開催 <来場者数 15,000人(㊟実績 15,000人)> ④・京都丹波スイーツ選手権等による地域食材を活用した新商品 <新商品 15商品> ・振興局マルシェ <50ブース、来場者数1,500人(㊟実績 7月開催41ブース、1,500人 3月開催50ブース、1,000人)> 		<ul style="list-style-type: none"> ・10月25日丹波自然運動公園にて、「森の京都ハロウィン」(京都丹波EXPOin京丹波)開催 来場者数 15,000人<100%> ㊟・京都丹波の特産食材を活用した、森の妖精「京都丹波ショコラ」の開発を調整し、既存開発商品の販売促進に取組 ・休日の庁舎を活用し、地域団体と共同で「京都丹波・振興局マルシェ」を2回開催 <平成27年12月12日園部庁舎、54ブース、1,000人> <平成28年3月19日亀岡庁舎、41ブース、1,500人>
	<p>オール京都丹波による誘致プロモーション等を実施することにより、観光入込客数及び観光消費額の増加を目指します。【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <京都丹波地域への観光入込客数 620万人(㊟実績 599万人)> <観光客一人当たりの消費額 2,092円(㊟実績 1,837円)> ・国内観光誘致プロモーション <中部圏をはじめとする大都市圏からの誘客をねらった観光プロモーション等の実施 年2回以上(㊟新規)> <中部圏、首都圏他の旅行会社(バス会社)等への営業、ファミトリップ等の実施 年3回以上(㊟新規)> ⑤<関西圏内旅行会社等への営業 2回以上(㊟新規)> <市町へのプロモーション個別支援 10件(㊟実績 10件)> ・インバウンド誘致プロモーション <国内でのインバウンド旅行会社(ランドオペレーター)への営業 年3回以上(㊟新規)> <各種ファミトリップの支援 年3回以上(㊟新規)> <海外での観光プロモーションの実施 年1回以上(㊟新規)> <情報発信媒体の制作 多言語情報マップ2種類(㊟新規)> <京都縦貫自動車道全線開通による京都舞鶴港からの誘客促進旅行会社への営業、商品造成の提案 年2回以上(㊟新規)> 		<ul style="list-style-type: none"> ・京都丹波地域への観光入込客数 644万人<104%> ・観光客一人当たりの消費額 1,817円<87%> ・中部圏をはじめとする大都市圏からの誘客をねらった観光プロモーション等の実施 4回<200%> ・中部圏、首都圏他の旅行会社(バス会社)等への営業、ファミトリップ等の実施 7回<230%> ・関西圏内旅行会社等への営業 4回<200%> ㊟・市町へのプロモーション個別支援 14回<140%> ・国内でのインバウンド旅行会社(ランドオペレーター)への営業、各種ファミトリップの支援 4回<130%> ・海外での観光プロモーションの実施 2回<200%> ・情報発信媒体の制作 多言語情報マップ2種類 2種<100%> ・京都縦貫自動車道全線開通による京都舞鶴港からの誘客促進旅行会社への営業、商品造成の提案 3回<150%>
	<p>京都丹波の食の魅力の情報発信を行います。【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジビエなど地域の食の魅力を提供できる店舗情報の情報発信 <ブログ、WEB等による情報発信 3回(㊟新規)> ⑥ 		<ul style="list-style-type: none"> ㊟・3回発信<100%>